

「一般社団法人 日本金融ジェロントロジー協会」への入会について

現在、個人金融資産：約 1,900 兆円の 5 割を 65 歳以上が保有していると言われており、高齢化の進展とともに高齢者の保有する個人金融資産の割合は今後、さらに上昇すると考えられています。また、75 歳以上の 4 人に 1 人が認知症を患っていると推測されており、それらが保有する資産は今後 20 年で 200 兆円になるとも想定されています。

この高齢社会において、金融業界に求められている事として、高齢者の様々な課題やニーズに対応し、顧客本位の業務運営に取り組んでいくことが期待されています。当社においても、高齢者に向けた適切なルールに基づいたサービスの提供や、高齢者の側に立ってアドバイスが出来る担い手としてより一層従事する為、「日本金融ジェロントロジー協会」（以下、「本協会」という。）に法人正会員として入会いたしました。

今後は、本協会が実施する研修の受講、及び認定試験の受験・資格取得を社員へ推奨し、「金融ジェロントロジー」に関する理解を深め、高齢のお客様に対して金融サービスを提供する為の高い知見と倫理観を身に付けるよう努めてまいります。

※「金融ジェロントロジー（金融老年学）」とは、長寿が経済活動や社会経済に与える影響を、医学や経済学、心理学などから他面的に研究する学問のことです。この学問の研究が進むことにより、今まで提供できなかった「高齢者に寄り添った金融サービスの提供」ができるようになることが期待されています。

記

1. 入会日

2021年9月1日（水）

2. 一般社団法人 日本金融ジェロントロジー協会について

名称	一般社団法人 日本金融ジェロントロジー協会 (Japan Financial Gerontology Institute、略称 JFGI)
設立年月日	2019年4月1日
所在地	〒108-0073 東京都港区三田 2-14-5
会長・代表理事	清水 雅彦（慶應義塾大学名誉教授）
設立の趣意	長寿高齢化という社会課題に対して、関連する知識・情報を広く金融業界に普及させることで、社会全体の利益に貢献していく
事業内容	(1) 金融ジェロントロジーに関する知識の啓蒙と普及
	(2) 金融ジェロントロジーに関する情報の提供、書籍等の発刊
	(3) 金融ジェロントロジーに関係する企業・団体等との情報共有など
	(4) 金融ジェロントロジーに関する資格の提供